

各位

会社名 フューチャー株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
(コード番号 4722 東証プライム)
問合せ先 ファイナンシャル&アカウンティンググループ
執行役員 松下 恭和
(TEL (03) 5740 - 5724)

2023年12月期連結業績のお知らせ

1. 2023年12月期連結業績について

当社グループの当連結会計年度（2023年1月1日～2023年12月31日）の連結業績は、

売上高	59,324百万円	(前年同期比 10.4%増)
営業利益	13,700百万円	(前年同期比 12.1%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	9,221百万円	(前年同期比 0.2%減)

となりました。

当連結会計年度における経済環境をみると、不安定な世界情勢、インフレーションの継続及び海外金利の上昇といった経済環境の中でも、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）や業務改革、新たなデジタルサービスの創出といったITを通じた経営改革への取組みは引き続き旺盛です。また、働き方改革関連法の施行等に伴う、従業員の働き方及び企業全体のサプライチェーンの見直しや、ESG・SDGs関連分野におけるITの活用も加速しており、あらゆる業種や領域においてIT投資が活発化しています。個人においては、ECサイト経由での購買、動画やオンラインを活用した娯楽やスポーツ観戦、ネットサービス上での教育、自己啓発など、ITの利用が定着し、これらに関連した様々なサービスが生まれています。

このような状況下、当社においては多種多様な顧客から案件を獲得したことに加え、中長期的な成長に資する大型プロジェクトが進行した結果、当社グループの当連結会計年度においては、売上高及び営業利益は前期比で増収増益となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益については、前期に投資有価証券の売却による特別利益を計上していたこと、当期に特別損失として固定資産に関連する減損損失および投資有価証券評価損を計上したことから、若干の減益となりました。

各セグメントの業績（売上高・営業利益）については以下の通りとなります。

(1) ITコンサルティング&サービス事業

フューチャーアーキテクト株式会社（フューチャー株式会社のテクノロジー部門を含む）は、小売の調達・製造・品質管理を一貫してデータ管理するプラットフォームの設計、アパレルの基幹システムの刷新、新聞社グループのDX推進のグランドデザインのほか、食品卸や公共サービスにおける基幹システム、ITインフラの刷新に係る設計・開発など、引き続き多種多様な顧客の案件を獲得・推進いたしました。

これらに加え、当社の中長期的な成長に資する、地域金融機関向け次世代バンキングシステム導入プロジェクトが、1行目は来期のリリースに向けた最終的な統合テスト、2行目は開発フェーズに入り、いずれも順調に推移しております。その他、複数の金融機関で融資支援システム「FutureBANK」の導入が進捗したほか、物流やアパレルをはじめとした多くの企業向けのDX支援が順調に進行いたしました。また、品質管理を徹底しながらプロジェクトを進めた結果、前期比で増収増益となりました。

フューチャーインスペース株式会社は、定常的な保守運用サービスに加え、既存顧客システムのシステム基盤更改及びクラウド移行案件の開発が好調に推移し、前期比で増収増益となりました。

FutureOne株式会社は、強みであるオリジナルのパッケージソフトウェア「InfiniOne」の販売において、鉄鋼業界など業界特化型の営業展開による受注が拡大しました。一方で、インボイス制度への対応後に中小企業のIT投資が鈍化した影響で受注が鈍り、前期比で減収減益となりました。

株式会社ワイ・ディ・シーは、製造業を中心とした新規顧客の開拓及び既存顧客の深耕が引き続き順調に推移し、これら従来のシステムインテグレーション案件に加えて、基幹システム刷新やSmartFactory構想のグランドデザインコンサルティングといった戦略立案フェーズからの展開が増加しました。また、顧客により高い付加価値を提供し収益性が向上した結果、前期比で増収増益となりました。

株式会社ディアイティは、脆弱性診断、インシデント対応、ネットワークセキュリティソリューションなど、サイバーセキュリティ関連のサービスの売上比率は増加しているものの、サービス関連の受注が想定に届かず、また、採用コストも継続して発生しており、前期比で増収減益となりました。

この結果、本セグメントの売上高は50,817百万円（前期比11.5%増）、営業利益は13,705百万円（同6.2%増）と増収増益となりました。

(2) ビジネスイノベーション事業

株式会社YOCABITOは、今期から推進しているデジタルプラットフォーム活用による単品管理と戦略売価設定により粗利率は回復したものの、暖冬の影響により秋冬シーズンのアパレルの販売が不振だったこと及びアウトドア製品市場の競争激化により販売が苦戦したことから、前期比で減収、営業利益は前期に引き続き営業赤字となりました。

東京カレンダー株式会社は、広告売上が回復基調にあることに加え、「東カレデート」等のネットサービス収入が堅調に推移したものの、新サービス「グルカレ」の展開に係る費用が発生したことから、前期比で増収減益となりました。

コードキャンプ株式会社は、法人研修事業が牽引し、加えて、業務の効率化により、コストを抑えたことにより増収増益となりました。

ライブリッツ株式会社は、新たな取組みとしてesports事業を開始しオーディションイベントを開催いたしました。業績面では、スポーツチーム向けの会員管理・ECパッケージ「FastBiz」の複数プロ野球チームへの導入案件を開始したことから、前期比で増収増益となりました。

当連結会計年度の第2四半期から新規に連結した株式会社キュリオシティは、海外の顧客を中心に、ラグジュアリーブランドのストアデザイン、ホスピタリティ（高級ホテル・ハイエンドレジデンス）等のインテリアデザインのほか、化粧品等のプロダクトデザインを手掛けております。当期はラグジュアリーブランドの海外各所におけるストアデザインが順調に進捗し、業績に貢献しました。

この結果、本セグメントの売上高は8,385百万円（前期比1.3%増）、営業損失は144百万円（前期は営業損失274百万円）となり、前期比で増収増益となりました。

なお、報告セグメントにおけるフューチャー株式会社の持株会社機能の収益並びに費用及びセグメント間の取引消去を計上する「調整額」の営業利益が263百万円となり、前期比で599百万円の増益（前期は営業損失336百万円）となりました。これは、主にフューチャー株式会社がITコンサルティング&サービス事業から受け取る技術支援料等が増加したことによるものです。

（注）上記のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しております。

2. 今後について

(1) グループ戦略について

中長期的な事業環境としては、DXやリモートワークをはじめとする働き方改革等の変化に加え、ESG・SDGsなどの経済、社会的な課題への対応の要請もあり、企業の積極的なIT投資は続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、ITを通じて経営改革を進める企業のニーズを的確に捉え、グループシナジーを発揮しながら多面的、積極的に支援することで、多種多様な顧客からの一層高い支持が得られるように努めてまいります。

また、ESG・SDGs関連の取組みにおいても自社の取組みを進めると共に、環境対応や脱炭素化に向けたお客様の取組みを支援してまいります。

加えて、グループとしての知的財産の有効活用や、M&Aも含めた機動的な戦略投資を行うことで、ビジネスモデルの進化を図り、次期以降の更なる成長へとつなげると共に、継続的な人材採用、教育、研究開発への投資といった将来の成長に資する事業基盤の整備を進めてまいります。

M&Aに関しては、株式会社リヴァンプとの経営統合を2024年1月に公表いたしました。リヴァンプは、「企業を芯から元気にする」との経営理念のもと、経営支援、DXおよび投資を主な事業とし、支援先企業の中長期的な成長の実現に貢献している会社です。リヴァンプの持つ顧客企業と一体となって経営改革を実現してきたノウハウと、先端テクノロジーを駆使して経営戦略とビジネスプロセスをデザインし実装する当社グループのノウハウを融合し、当社グループ全体としての課題解決力をさらに高めるとともに、グループの成長を加速させてまいります。

人材採用では、新卒採用において、学生時代に培った経験・スキルに応じた「バリュー採用」を開始し、想定年収をアップした新たな報酬体系を適用するほか、グループ独自のメタバースプラットフォームにおいて採用情報を発信するなどのさまざまな取組みを行うことで、人材の獲得に繋げてまいります。

併せて、グループ内のコミュニケーション強化、品質管理精度の更なる向上等、グループガバナンスの強化を実施してまいります。

各セグメントの特記事項は次の通りです。

(2) ITコンサルティング&サービス事業

フューチャーアーキテクト株式会社においては、経営改革を図る顧客からのグランドデザイン及びDXの推進を意識した、多様な業種からの基幹システム刷新等の案件を受注いたしました。これらプロジェクトの確実な進行を図ると共に、顧客へのDX人材育成プログラムの提供等、投資ニーズのある企業からの更なる受注獲得に努めてまいります。

また、地域金融機関に向けた「次世代バンキングシステム」、メディア向けの「GlyphFeeds」、アパレル向けの「FutureApparel」、物流向けの「FutureLOGI」などの永年の課題解決に資するITソリューションの提供、デジタル活用による企業戦略全体の高度化支援といった、中長期的な成長につながる取組みを強化してまいります。

さらに、人材の獲得や教育への投資、品質管理、プロジェクトマネジメントの強化に取り組むことで、これからの時代をリードする体制作りを行ってまいります。

フューチャーインスペース株式会社は、既存顧客システムにおけるシステム基盤更改およびクラウド移行案件など、複数の大型プロジェクトの開発を安定的に進めるために、更なる開発品質向上と人材の採用・育成を行い、着実に収益を拡大いたします。

F u t u r e O n e 株式会社は、引き続き、強みであるオリジナルのパッケージソフトウェア「InfiniOne」の業界特化型の営業展開による受注拡大を実施するとともに、製品強化にも努め、顧客の未来価値をより向上させるための製販一体でのトータルソリューションの提供により一層の収益の拡大を目指します。

株式会社ワイ・ディ・シーは、製造業への SmartFactory 提案に更に注力し、パイロット顧客への導入を足がかりに新規顧客及び既存顧客へのソリューション提案を引き続き強化すると共に、SaaS サービスを中心とした顧客接点改革ビジネスの拡大を狙います。また、グループシナジーの発揮による物流領域での新規案件の獲得と、サステナビリティ経営のあるべき姿を追求するコンソーシアムを通じた ESG 領域での貢献により、収益の更なる拡大を目指します。

株式会社ディアイティは、ゼロトラストを実現するセキュリティライフサイクルを企業に提供すべく、採用活動や社内教育などの人材戦略および子会社のサイバー・ソリューション株式会社との連携を強化します。加えて、セキュリティリスクアセスメントを中心にログ解析と危機管理対応のサービス提供を推進し、より一層の収益の拡大を目指します。

(3) ビジネスイノベーション事業

株式会社YOCABITOは、デジタルプラットフォームの活用によるアナリティクス精度の向上とデータドリブンでの業務効率化、迅速な意思決定により、収益を回復すべく引き続き努めてまいります。また、今後の新たな成長の柱とすべく一部プライベートブランドのリニューアルを着実に進めてまいります。

東京カレンダー株式会社は、ユーザーデータの分析や利活用によるデジタルプロモーションの強化により、集客力とユーザーエンゲージメントをより一層高めてまいります。また、月刊誌、WEBメディアと、「東カレデート」「グルカレ」などのサービスをシームレスに連携させて露出を強化し、更なる成長を図ることで、全体の収益拡大を目指してまいります。

コードキャンプ株式会社は、昨年に引き続き企業及び自治体向けにDX人材育成やリスクリング等の市場ニーズに合わせたサービスを強化してまいります。個人向け事業においては個人の学習ニーズを適切に把握し、必要なコース開発に注力し、受注の増加を目指してまいります。

ライブリッツ株式会社は、データを活用してチームを強くする「Future Fastball」の開発技術を活用して esports 向けデータ分析システムを構築し、世界に通用するプロ esports チームを作り上げると共に、分析データの一部を公開するなど esports 業界自体の発展を目指します。さらに、esports 事業で得た技術やノウハウをスポーツチーム向けシステムに反映し、顧客ビジネスの更なる拡大に貢献してまいります。

株式会社キュリオシティは、プロジェクト規模が大きくなるホスピタリティ（高級ホテル・ハイエンドレジデンス）のインテリアデザインの事業に注力するほか、世界的なブランドのストアデザインを顧客の世界展開に合わせて継続的に受注してまいります。併せて、キュリオシティのデザイン哲学を理解・実践し、グローバルに対応できるデザイナーの採用を行ってまいります。

3. 配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として位置付け、持続的な成長を続けるための内部留保資金を確保しつつ、期間損益、キャッシュ・フローの状況、自己株式の買付状況等も総合的に勘案して配当を決定しております。

配当性向の目安に関しては、連結業績における配当性向を35%以上とする方針としております。

上記の方針に基づき、当期末の剰余金の配当は、1株当たり20円とすることを予定しており、既の実施済の中間配当を合わせた年間の配当金は1株当たり40円（連結配当性向38.4%）となる予定です。

次期の剰余金の配当は、1株当たり42円の普通配当（中間配当21円、期末配当21円。連結配当性向36.7%）を予定しております。

以上

●本件に関する問い合わせ先：

フューチャー株式会社 ファイナンシャル&アカウンティンググループ 松下恭和

IR直通 Tel：03-5740-5724 電子メール：ir@future.co.jp